



「ふれあいの里山」 復活大作戦

日時	2020年 6月 6日(土) 9時00分～ 11時30分		
場所	金ヶ崎公園	天候	曇り
参加者	エコウイング会員／6名、事務局／2名 計／8名		

● 午前

新型コロナウイルスの感染防止のため、2月から5月の間は金ヶ崎公園の活動を休止したため、今日は4ヶ月ぶりの活動になりました。今日も、感染防止で3密を避けるため、いつもの会議室ではなく、屋外の公園入口に朝9時に8名のメンバーが集合しました。

その後、公園内を一巡して昆虫を中心とした自然観察をしました。6月に入って気温も上がり、やぶ蚊の対策で蚊取り線香をぶら下げての観察でした。チョウやトンボ、コウチュウなどのなかまが色々と姿を見せましたが、この季節にしては昆虫の種類も数も思ったほど多くありませんでした。

金ヶ崎公園に限らず、最近はどこに行っても昆虫の姿がかなり少なくなっているように思えます。気候変動などの影響もあるのかもしれませんが、人為的な要因もあるのではないかと、気掛かりです。

今日は、新型コロナウイルスの感染防止と熱中症の予防のため、午前中の自然観察だけとし11時30分ごろに活動を終わりました。

● 次回の活動は、7月4日(土)の予定です。夏本番の暑い時期になりますが、色々な昆虫の姿を観察できるのではないかと思います。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

自然観察(その1)



自然観察(その2)



自然観察(その3)



自然観察(その4)



今日の自然観察日記(その1)

今日は、曇り空ながら気温はやや高くなり27℃を越えました。この時期には、たくさんの昆虫が飛び回るはずですが、観察できた昆虫は思ったほど多くありませんでした。それでも、チョウやガ、トンボ、コウチュウ、カメムシなどのなかまが姿を見せてくれました。

また、ツバキの葉にたくさんのチャドクガの幼虫(毛虫)がびっしりと並んでいる様子が観察されました。

モンキアゲハ



ホシミスジ



ヒカゲチョウ



ヒメウラナミジャノメ



モンシロチョウ



ミズイロオナガシジミ



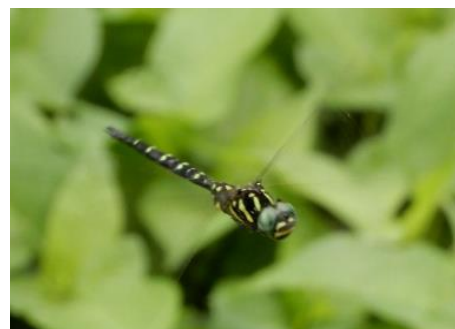
ガのなかま



ガのなかま



ホバリング中のサラサヤンマ



オオシオカラトンボ(メス)



セスジイトトンボ(メス)



シロテンハナムグリ



今日の自然観察日記(その2)

キマワリ



ナミテントウ(その1)



ナミテントウ(その2)



ナガチャコガネ



ヒメナガニジゴミムシダマシ



マツアナアキゾウムシ



ウシカメムシ



アカサシガメ



ヨコヅナサシガメ



マドガガンボ



アメンボの群れ



ヒメジョオンの花に止まるカマキリの幼虫



ツバキの葉に群れるチャドクガの幼虫



今日の自然観察日記(その3)

今日は、クモのなかまも色々観察できました。公園内の小川に生えているミゾソバの葉の上で、獲物の昆虫を待つ大きなイオウイロハシリグモや外観がアリにそっくりのアリグモなどです。

イオウイロハシリグモ



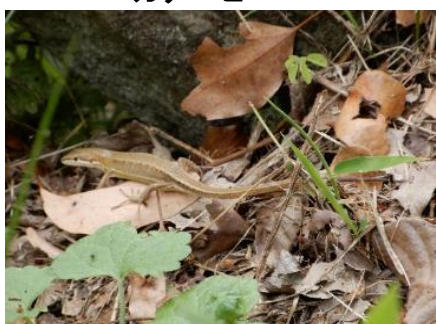
アリグモ



そのほかの生き物では、爬虫類のカナヘビや両生類のトノサマガエル、アマガエル、ツチガエルが観察できました。

野鳥は、観察会の途中ではあまり確認できませんでしたが、活動終了後に公園内をもう一度回って見たら、カワラヒワの幼鳥、ヒヨドリ、枯れ木に穴を明けるコゲラのほか、ちょっと珍しいサンコウチョウが姿を見せました。

カナヘビ



トノサマガエル



アマガエル



ツチガエル



カワラヒワの幼鳥



ヒヨドリ



枯木に穴を明けるコゲラ



サンコウチョウ

